

2024年度卒業時アンケート 報告書

南山大学

目次

はじめに（趣旨、実施概要）

1. 入学前の期待
2. 在学中の成長
3. 卒業時の評価
4. 入学前の期待 × 卒業時の評価
5. まとめ

はじめに（趣旨、実施概要）

- 入学前の期待と卒業時の満足度とのギャップ、成長実感やその要因を調査
- GPAなどの客観評価に加え、学生の主観評価を基に、「学修者本位」の教育の実現に向けた改善に役立てる。

期間	2024年11月20日（水）～ 2025年3月19日（水）
実施方法	Webによる匿名回答（二重回答はシステム上不可）
対象	2025年3月卒業見込みの全学部全学科 4年次生以上
回収率	53%（回答者数1153人、2024年度卒業生数2194人）

1. 入学前の期待

「あなたは、本学にどのようなことを期待していましたか」

入学前の期待(1/2)

回答

友人・知人など周囲の評判がよい

481 (41.7%)

幅広く専門的な知識・教養が身につけられる授業が多い

406 (35.2%)

国際感覚が身につく授業が多い

381 (33.0%)

語学力が向上する授業・制度が充実している

365 (31.7%)

外国人留学生との交流が盛んである

197 (17.1%)

留学支援の制度が充実している

187 (16.2%)

食堂やトイレなどの生活環境が充実している

184 (16.0%)

カリキュラム選択の幅が広い

160 (13.9%)

歴史や伝統を感じることができる

155 (13.4%)

建学の理念や教育方針に魅力がある

149 (12.9%)

クラブ・サークル活動が充実している

147 (12.7%)

就職活動に対するサポート制度・

キャリア教育が充実している

143 (12.4%)

職業に役立つ知識・技術を習得できる授業、

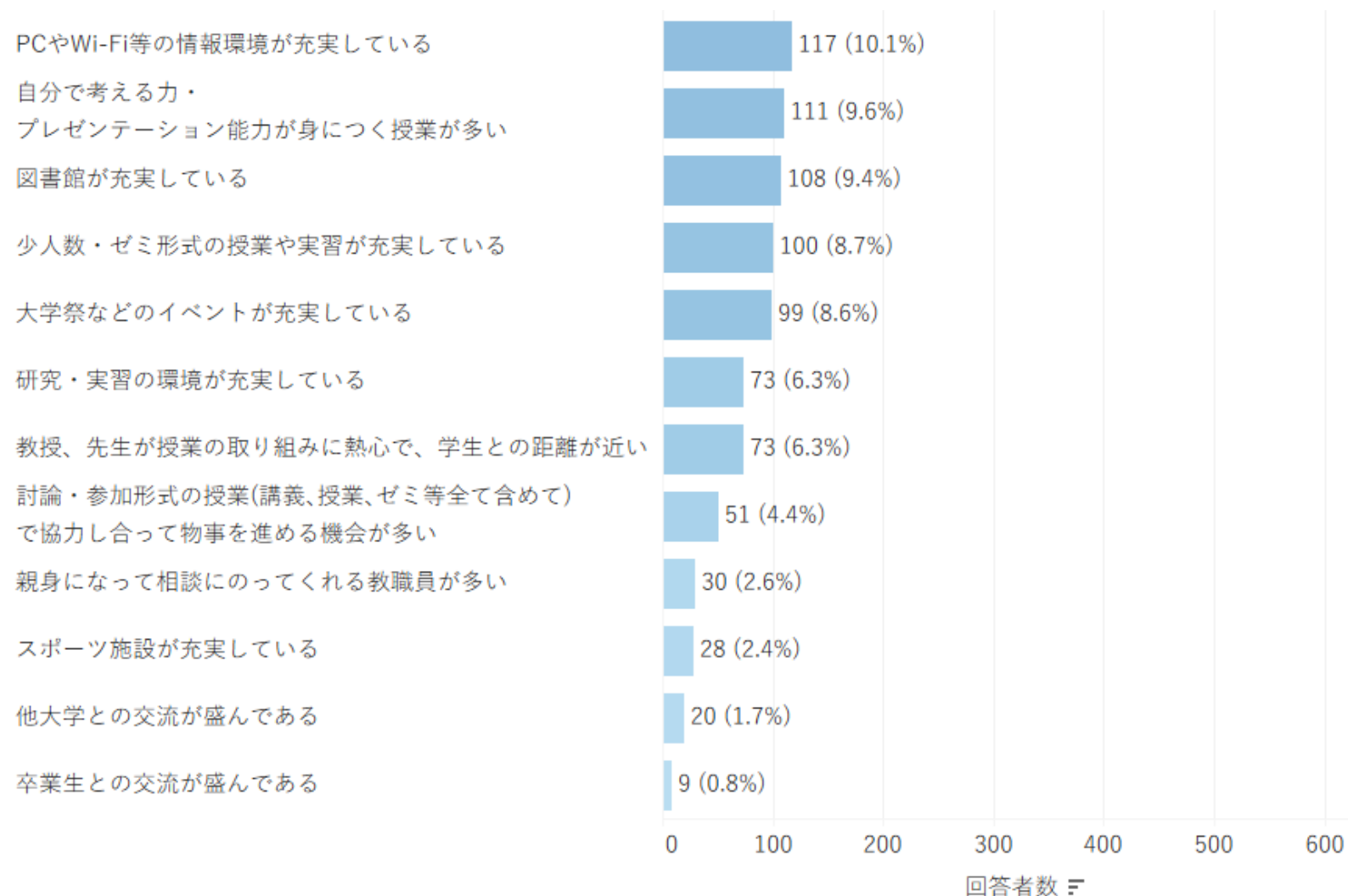
目指す資格が取得できる講座が多い

139 (12.1%)

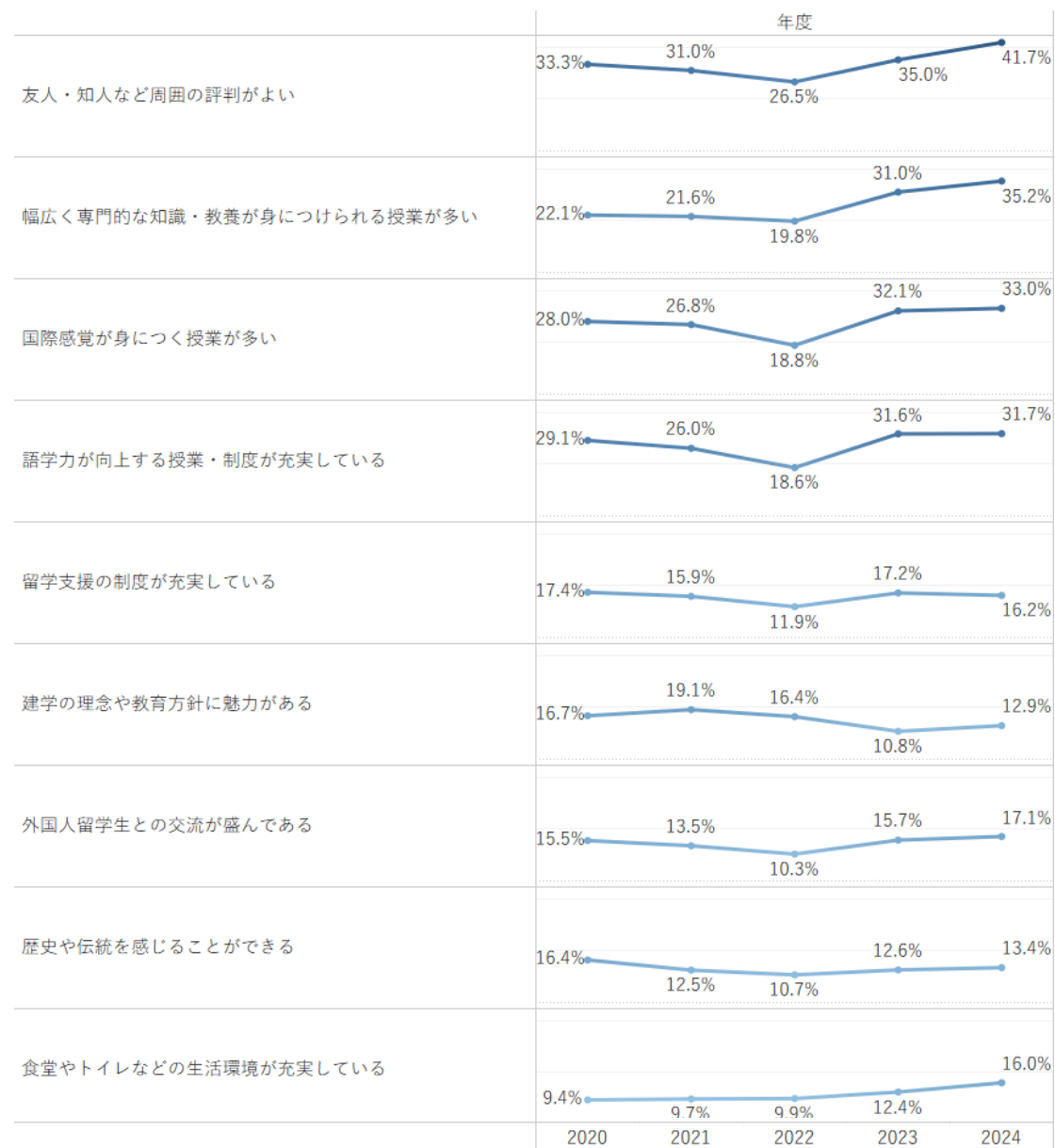
自分を成長させてくれる教授、先生に出会える

125 (10.8%)

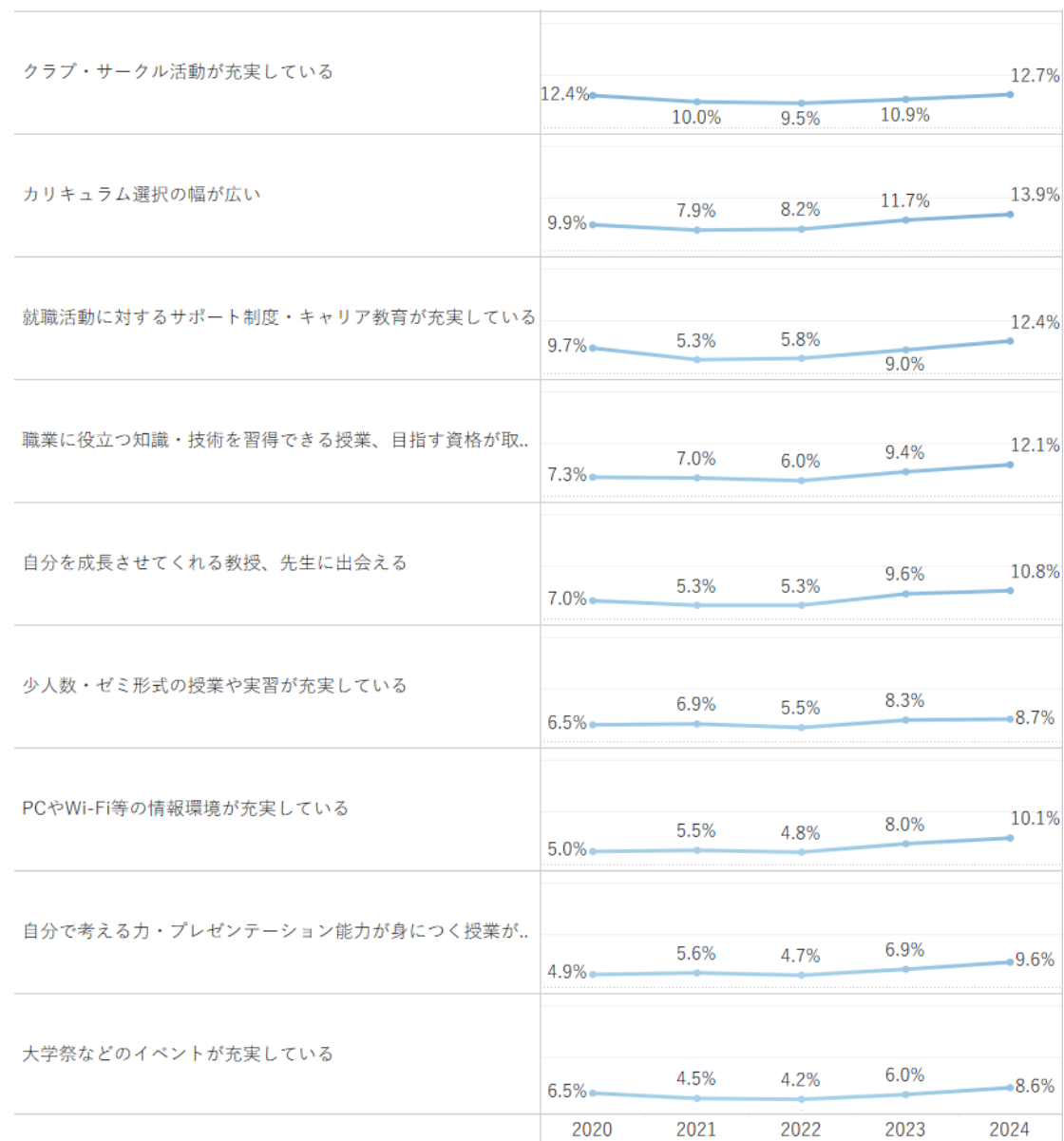
入学前の期待(2/2)



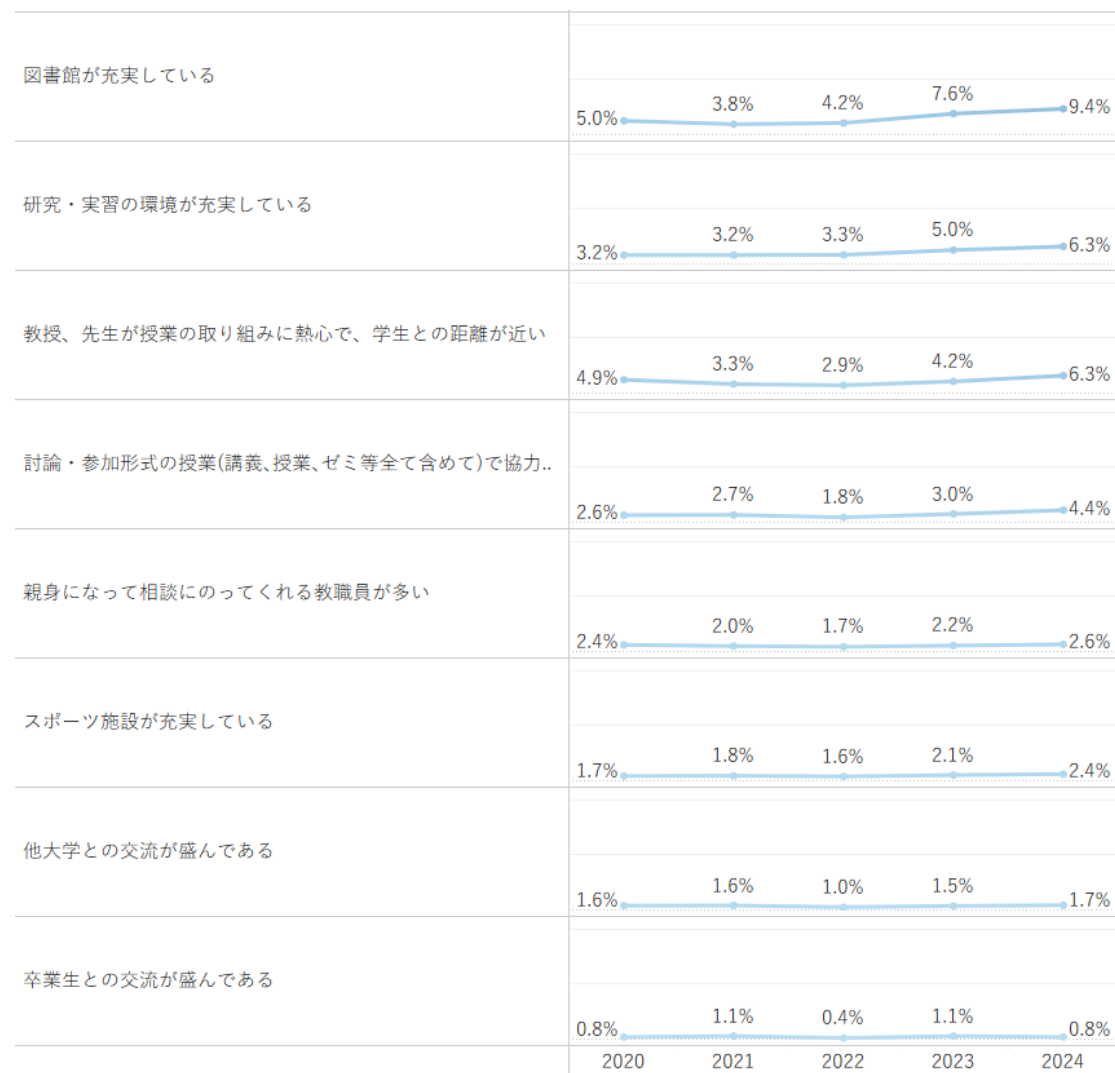
入学前の期待 – 経年比較(1/3)



入学前の期待 – 経年比較(2/3)



入学前の期待－経年比較(3/3)



2. 在学中の成長

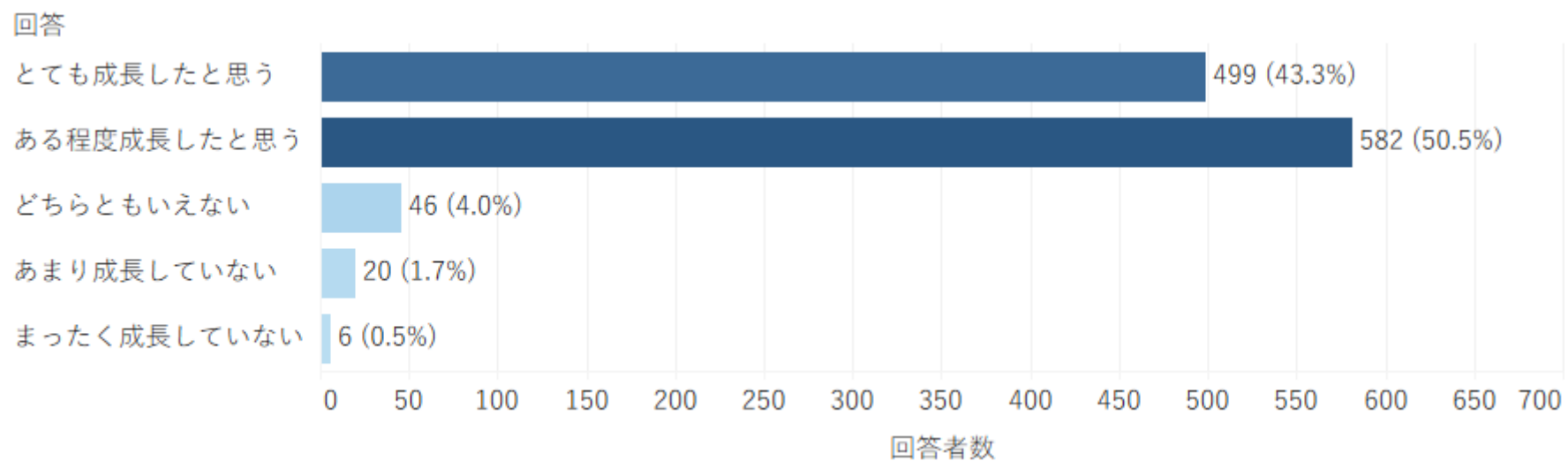
「本学に入学し、どの程度成長したという実感がありますか」

「本学での学校生活でどのような力が身につきましたか」

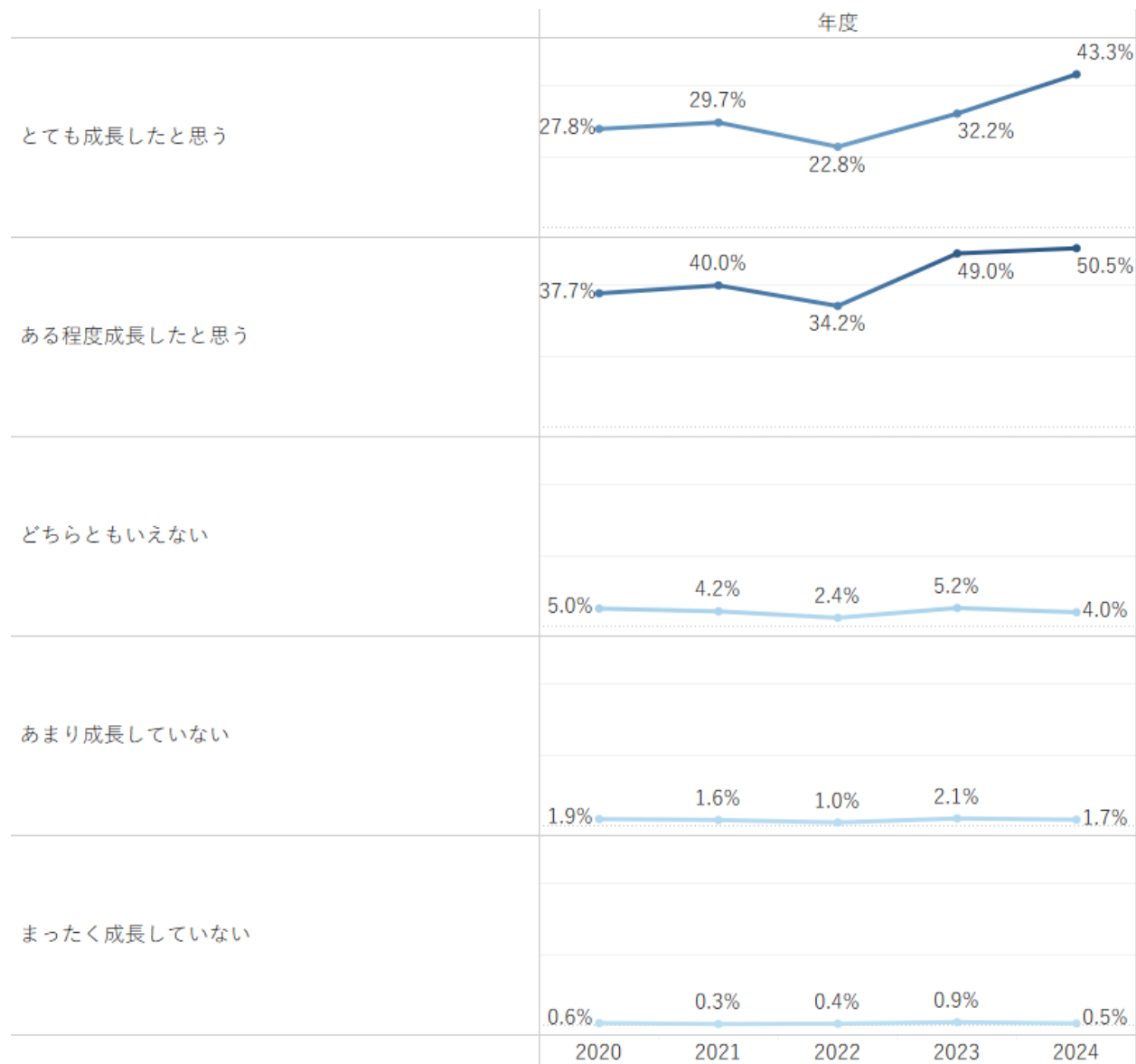
「身に付いた力は主にどのようなところから身につきましたか」

「成長できたと評価できるきっかけは何でしたか」

在学中の成長：成長した実感



在学中の成長：成長した実感－前年度までの比較



在学中の成長：在学中に身についた力

回答

物事を論理的にさまざまな視点から考え、

知識を統合し判断する力

専門分野の知識・技術を理解・習得し、

活かせる力

丁寧な意見交流、

意見の違いや立場の違いを理解する力

物事に進んで取り組み、

周りの人に働きかけ協力してもらえる力

現状を分析し目的や課題・

プロセスを明らかにし準備・行動する力

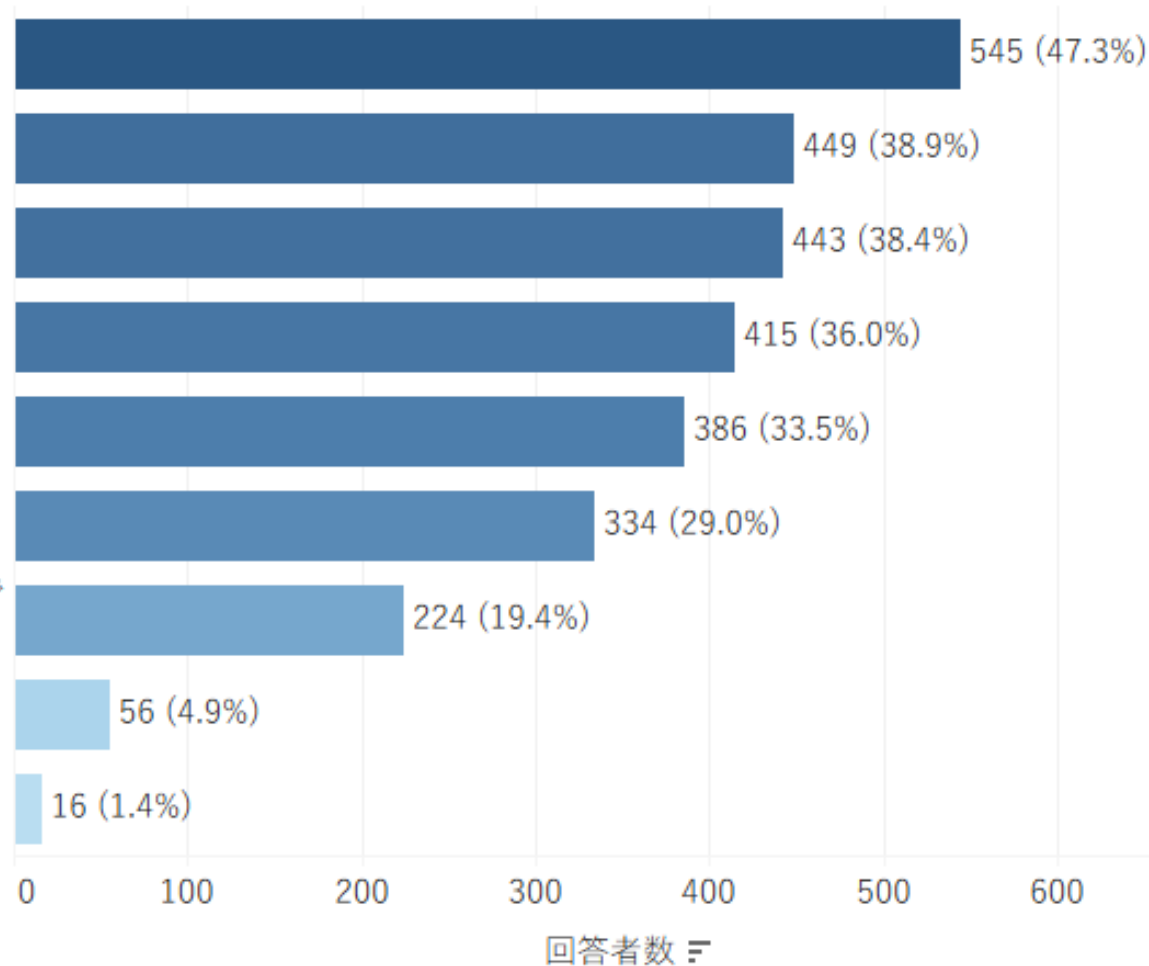
社会のルールや人との約束を守る力

外国語を日常的に使える力やグローバルに活躍で

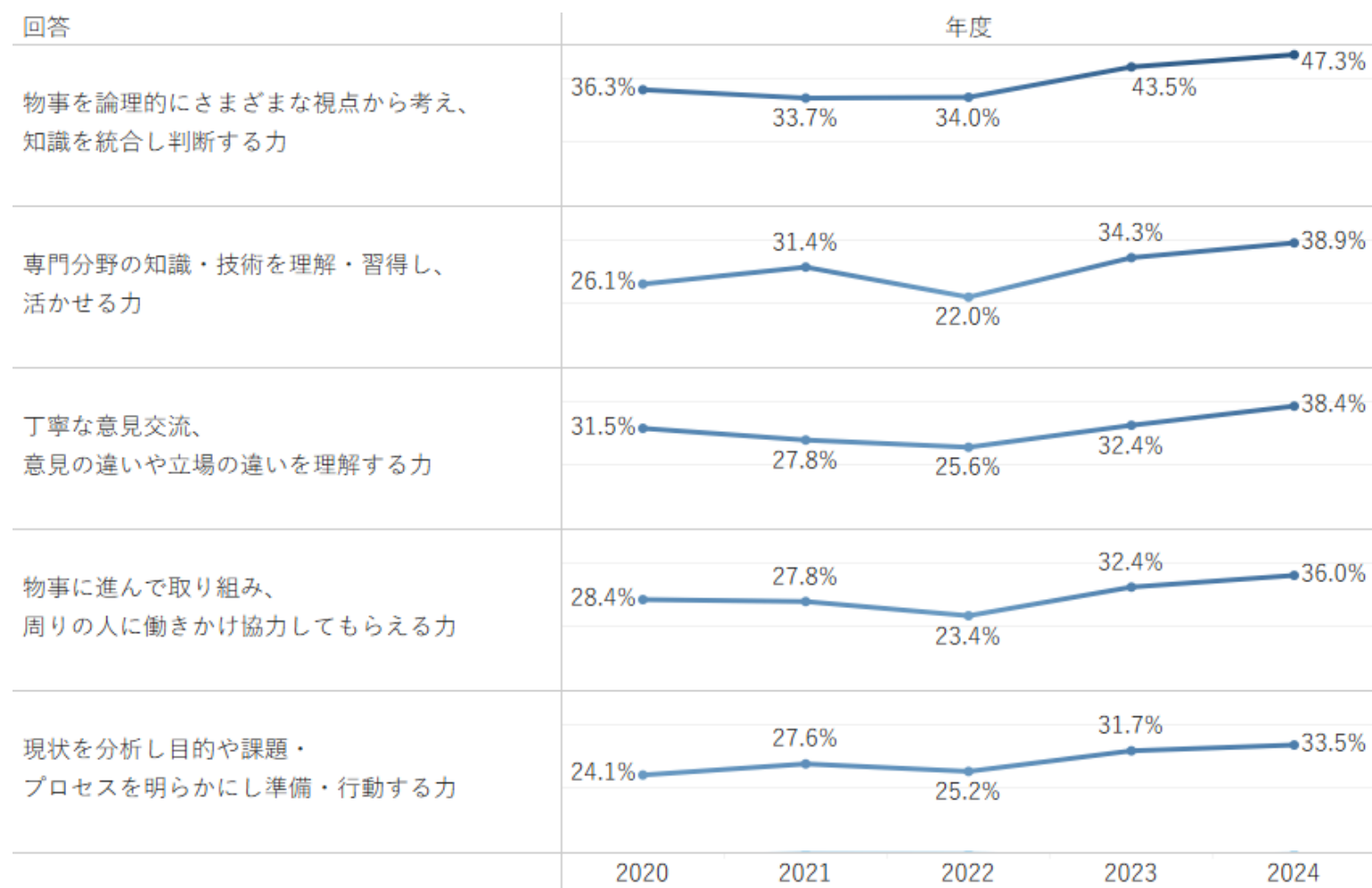
きる力

地域に貢献する力

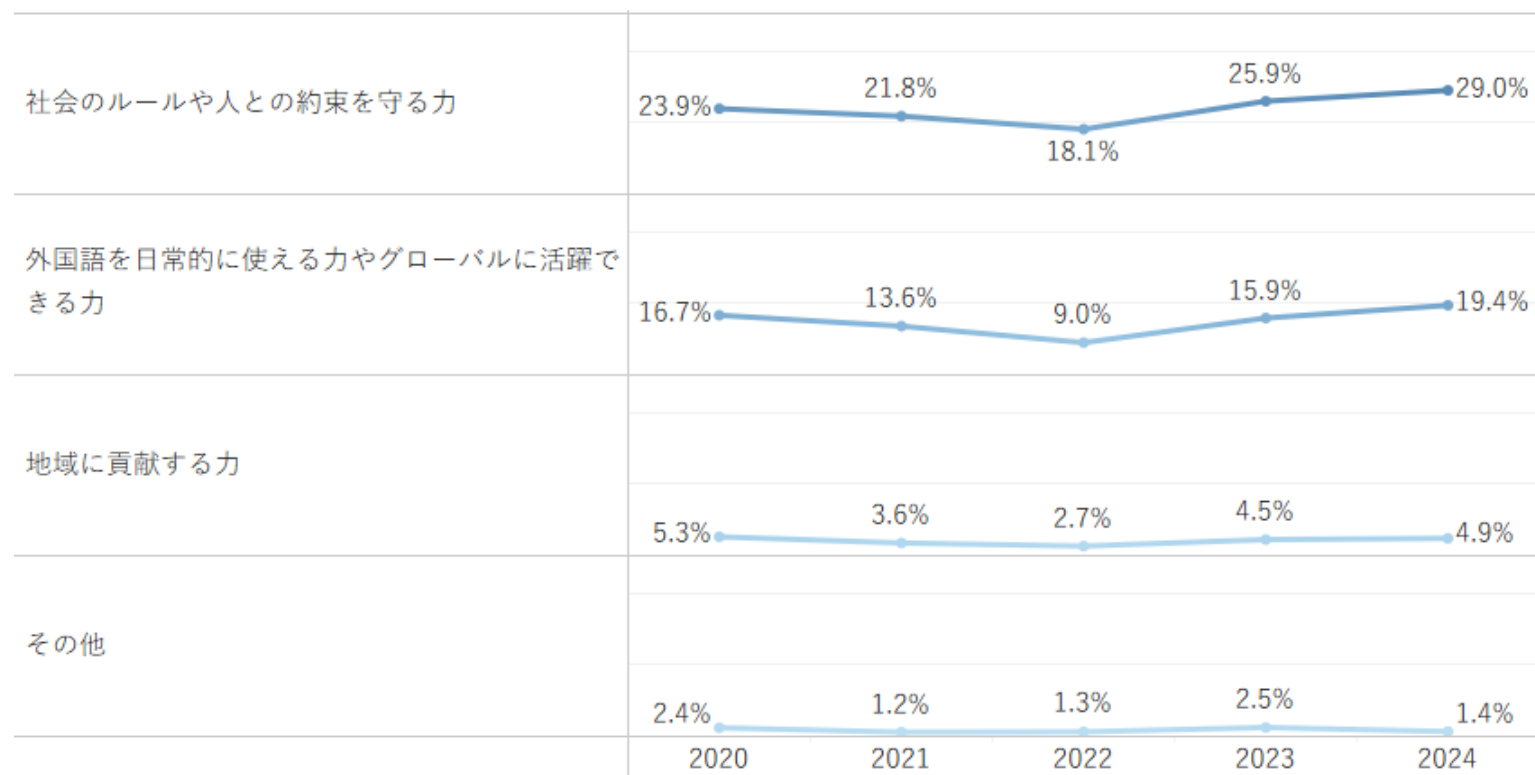
その他



在学中の成長：在学中に身についた力－経年比較(1/2)



在学中の成長：在学中に身についた力－経年比較(1/2)



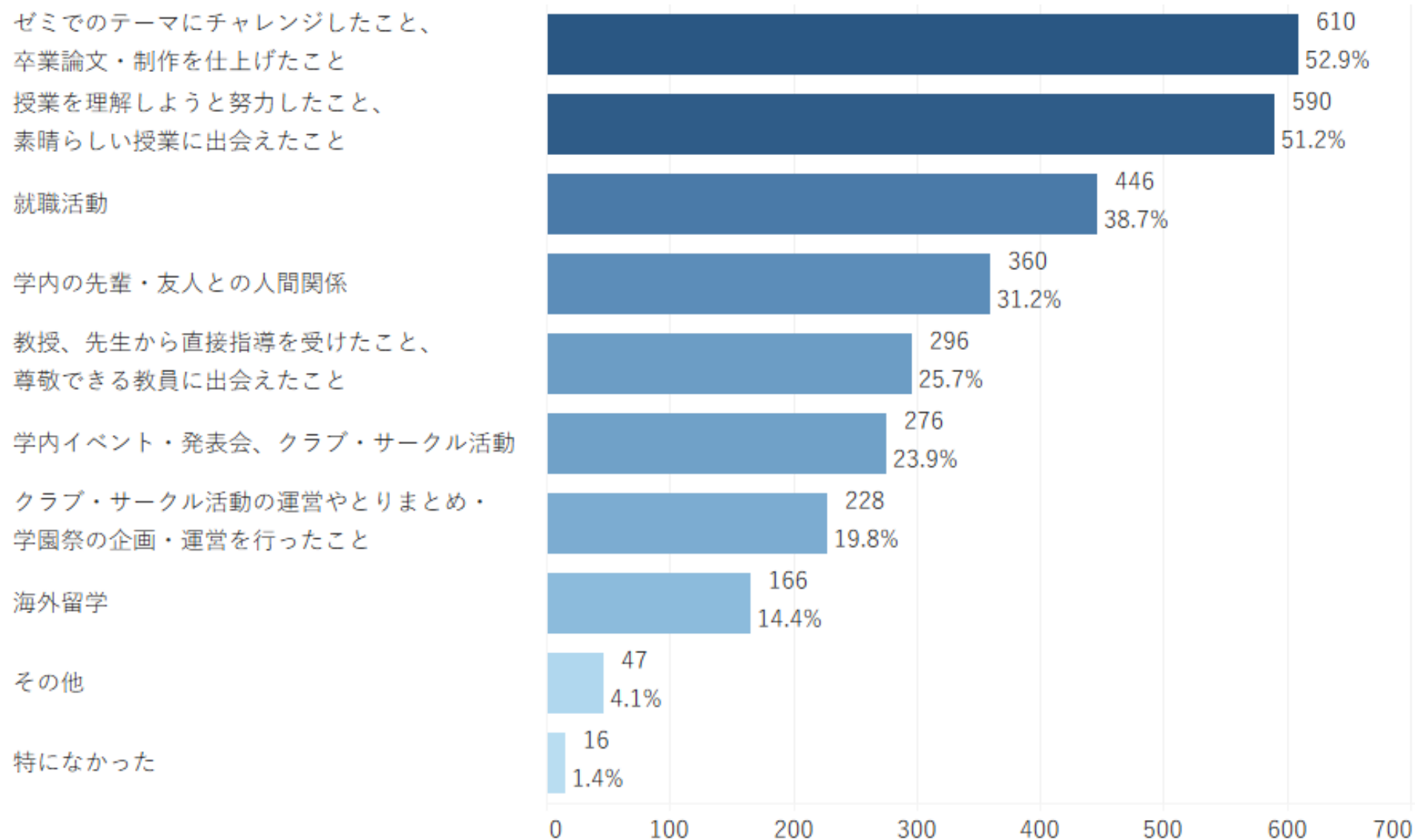
在学中の成長：在学中に身についた力とその源泉(クロス集計 1/2)

	授業・ゼミ・実習・研究	アルバイト先の先輩・友人	友人との交流	クラブ・サークル活動が充実している	教員との交流	インターンシップ・就職活動	留学	学内外イベント・大会・コンペ・ワークショップ..	ボランティア活動
1.物事を論理的にさまざまな視点から考え、知識を統合し判断する力	509	140	138	107	121	88	35	21	16
2.専門分野の知識・技術を理解・習得し、活かせる力	427	51	75	48	133	38	24	16	8
3.物事に進んで取り組み、周りの人に働きかけ協力してもらえる力	304	167	166	181	66	76	40	25	22
4.現状を分析し目的や課題・プロセスを明らかにし準備・行動する力	349	111	84	96	81	85	21	24	7
5.丁寧な意見交流、意見の違いや立場の違いを理解する力	371	146	203	153	120	83	41	27	24

在学中の成長：在学中に身についた力とその源泉(クロス集計 2/2)

	授業・ゼミ・実習・研究	アルバイト先の先輩・友人	友人との交流	クラブ・サークル活動が充実している	教員との交流	インターンシップ・就職活動	留学	学内外イベント・大会・コンペ・ワークショップ..	ボランティア活動
6.社会のルールや人との約束を守る力	191	227	149	128	103	110	11	18	23
7.外国語を日常的に使える力やグローバルに活躍できる力	149	24	61	9	47	9	118	18	16
8.地域に貢献する力	32	9	2	13	5	17		9	14
9.その他	5	8	2	1	1		1	1	
平均	260	98	98	82	75	63	36	18	16

在学中の成長：成長できたきっかけ



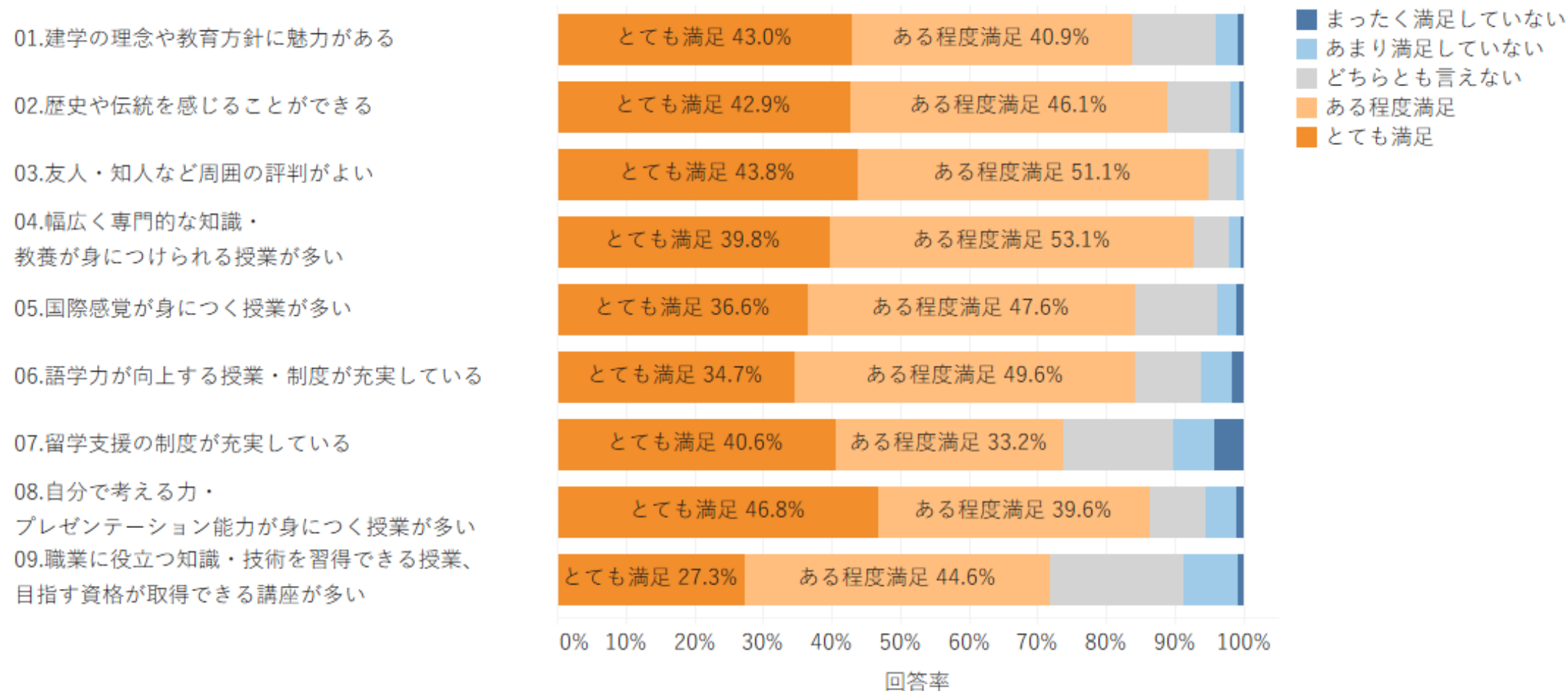
3. 卒業時の評価

「本学での学生生活を振り返って、以下の点においてどの程度満足していますか」

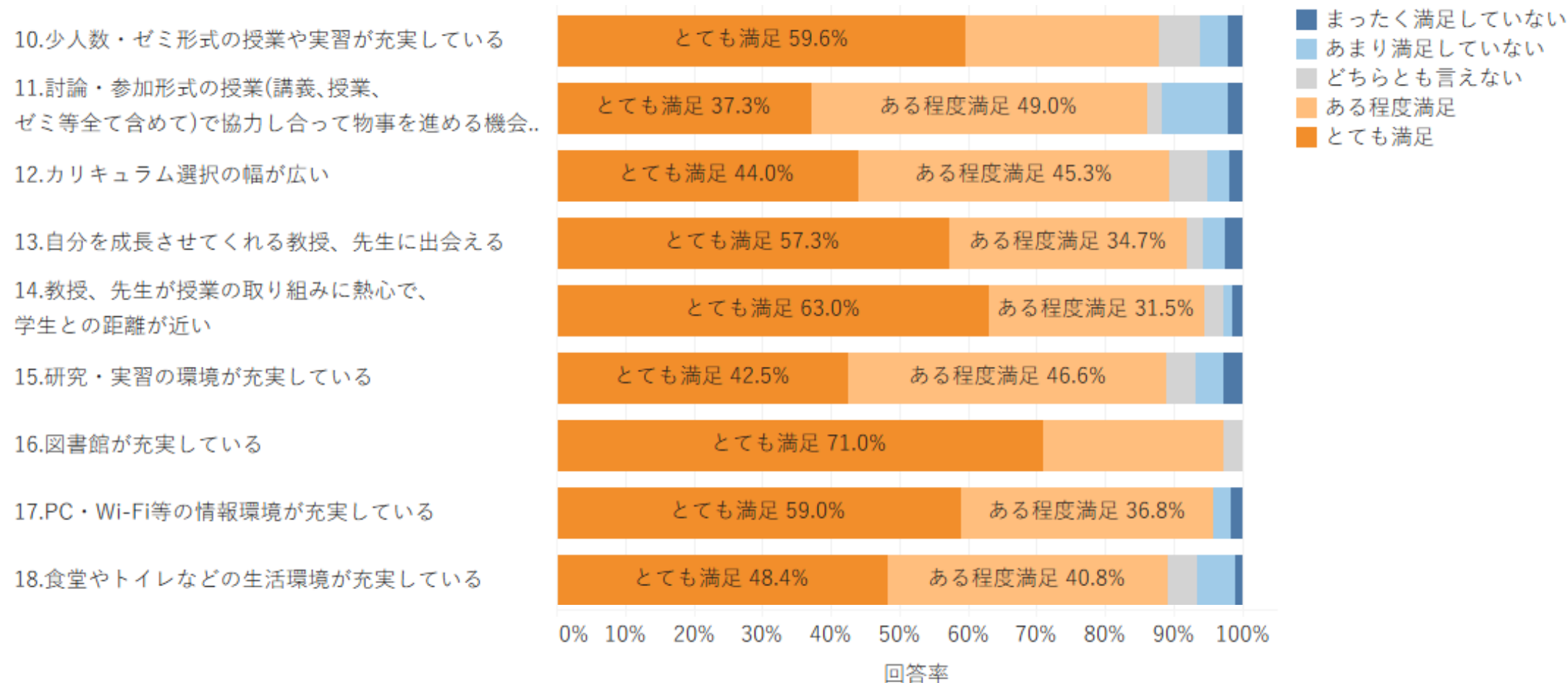
「総合的に考えて、あなたはどの程度満足していますか」

「後輩が進学先を検討の際、本学を薦めますか」

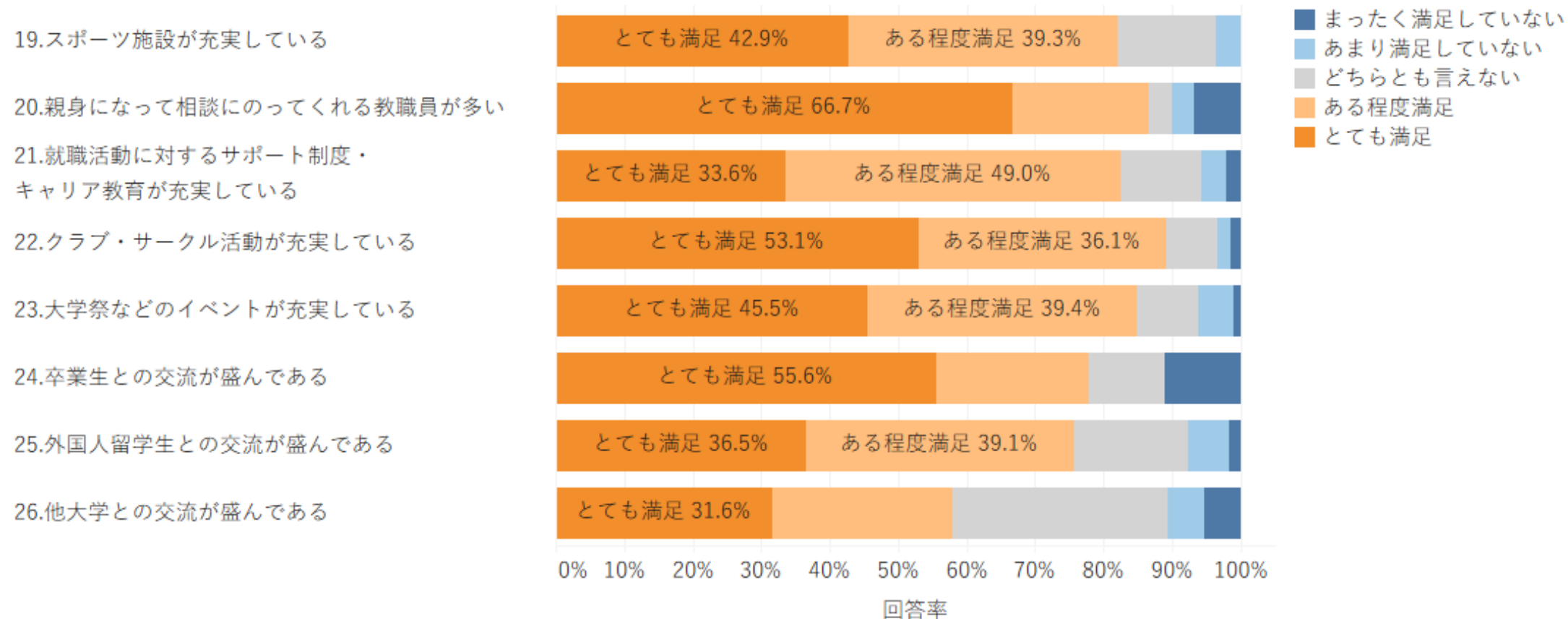
卒業時の評価：項目別満足度(1/3)



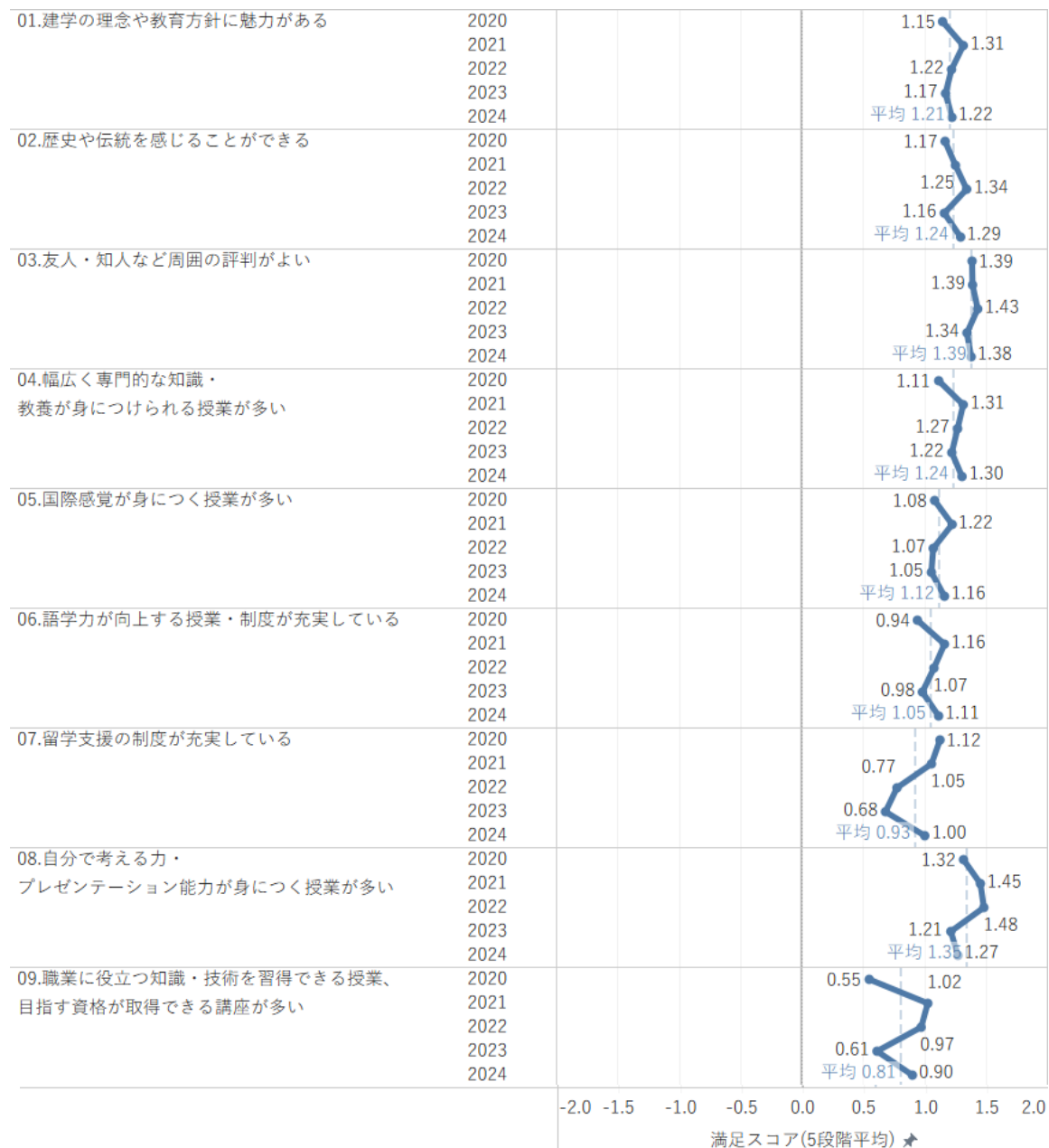
卒業時の評価：項目別満足度(2/3)



卒業時の評価：項目別満足度(3/3)



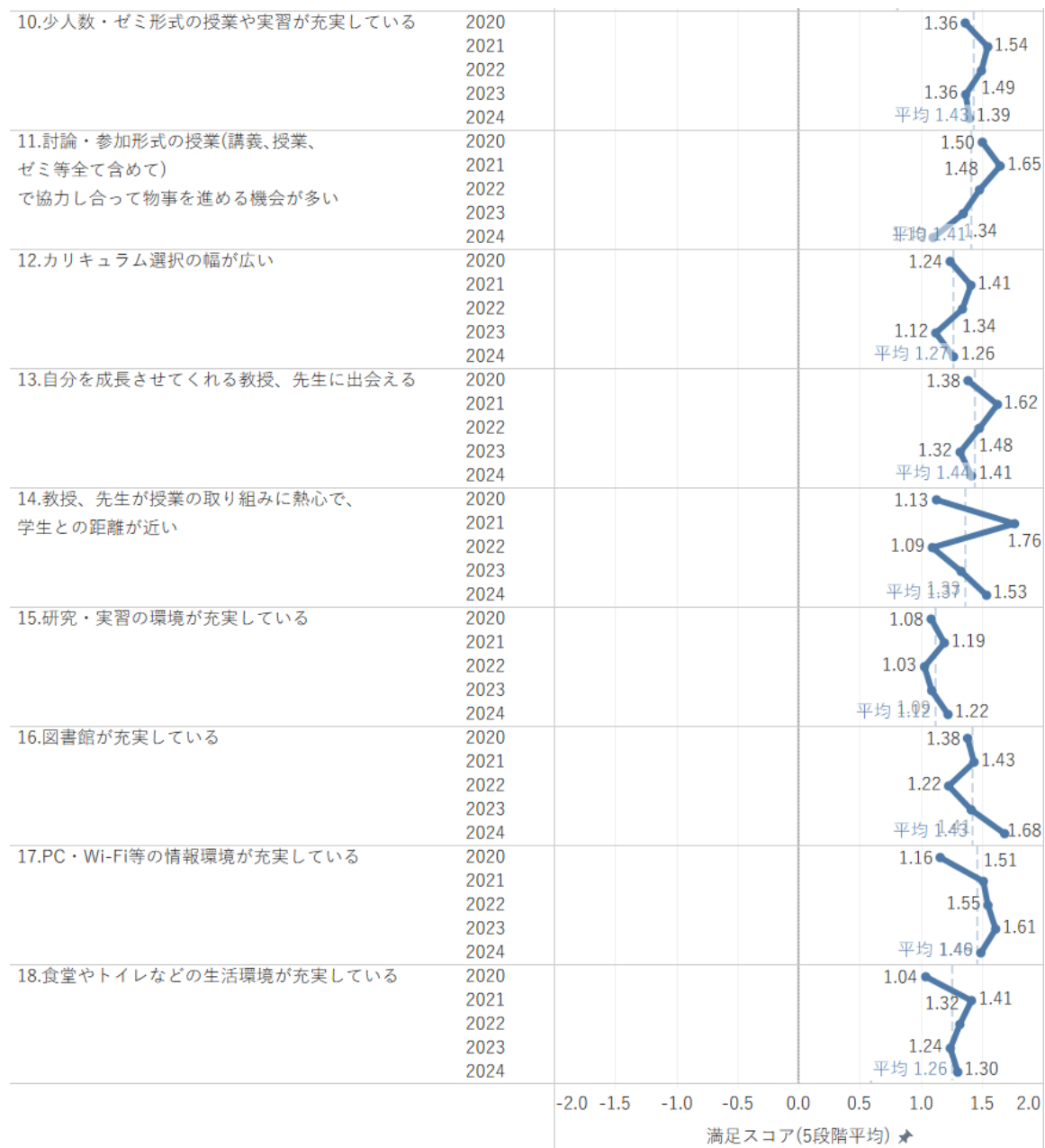
卒業時の評価：項目別満足度をスコア化した際の経年比較(1/3)



※ 各選択肢を下記の通り仮想的に定量化して算出した

- とても満足: +2
- ある程度満足: +1
- どちらともいえない: 0
- あまり満足していない: -1
- まったく満足していない: -2

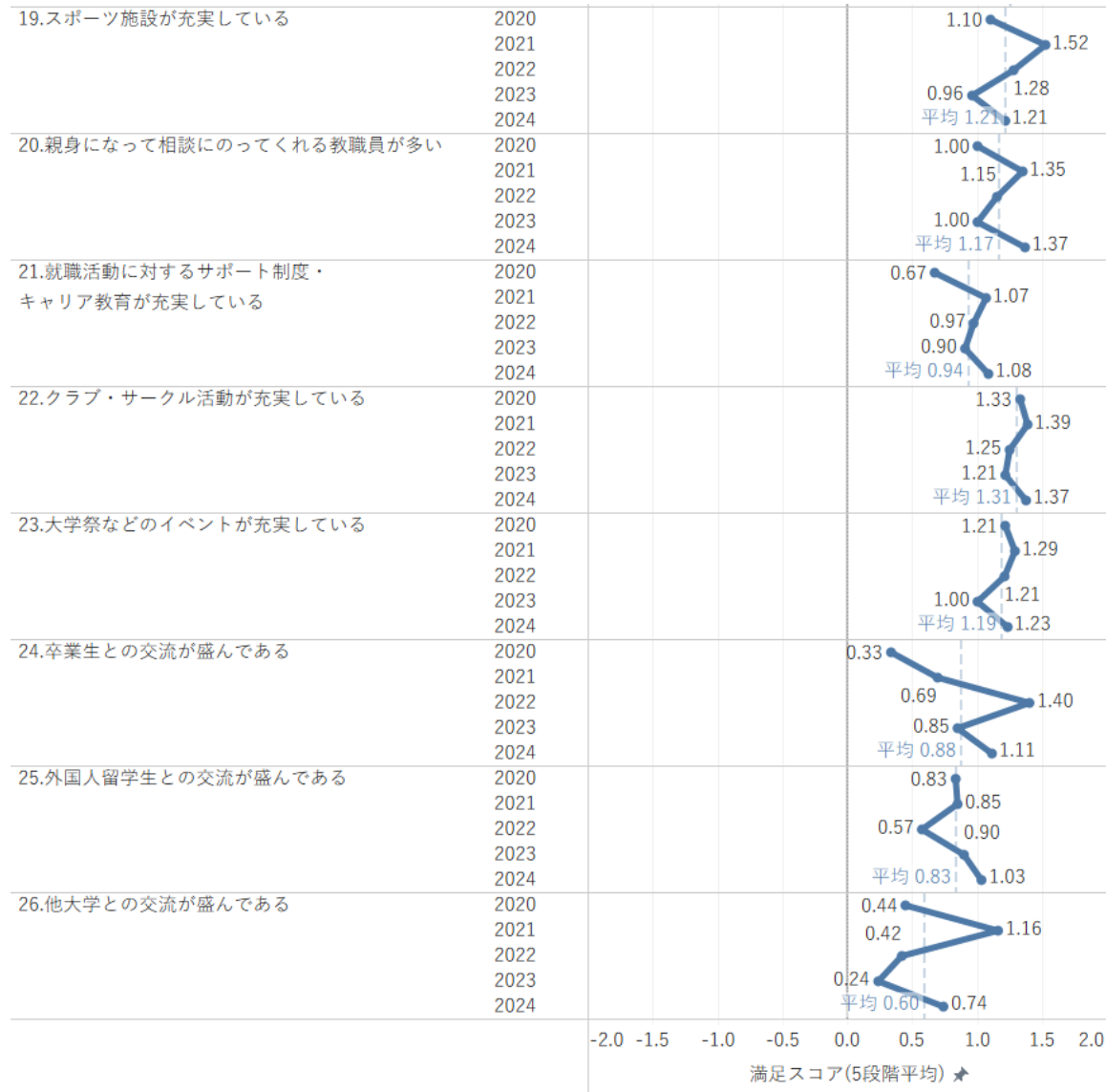
卒業時の評価：項目別満足度をスコア化した際の経年比較(2/3)



※ 各選択肢を下記の通り仮想的に定量化して算出した

- とても満足: +2
- ある程度満足: +1
- どちらともいえない: 0
- あまり満足していない: -1
- まったく満足していない: -2

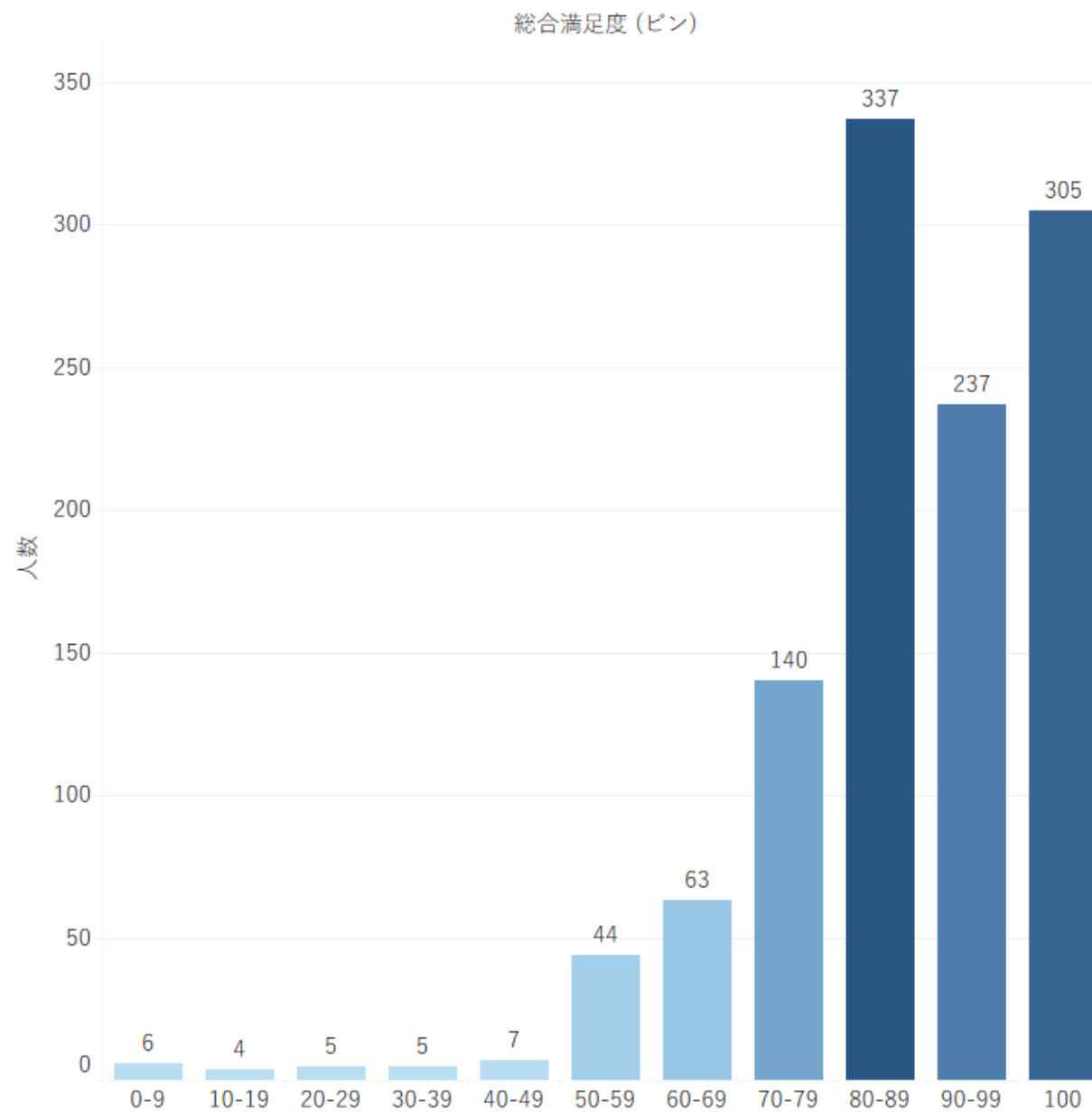
卒業時の評価：項目別満足度をスコア化した際の経年比較(3/3)



※ 各選択肢を下記の通り仮想的に定量化して算出した

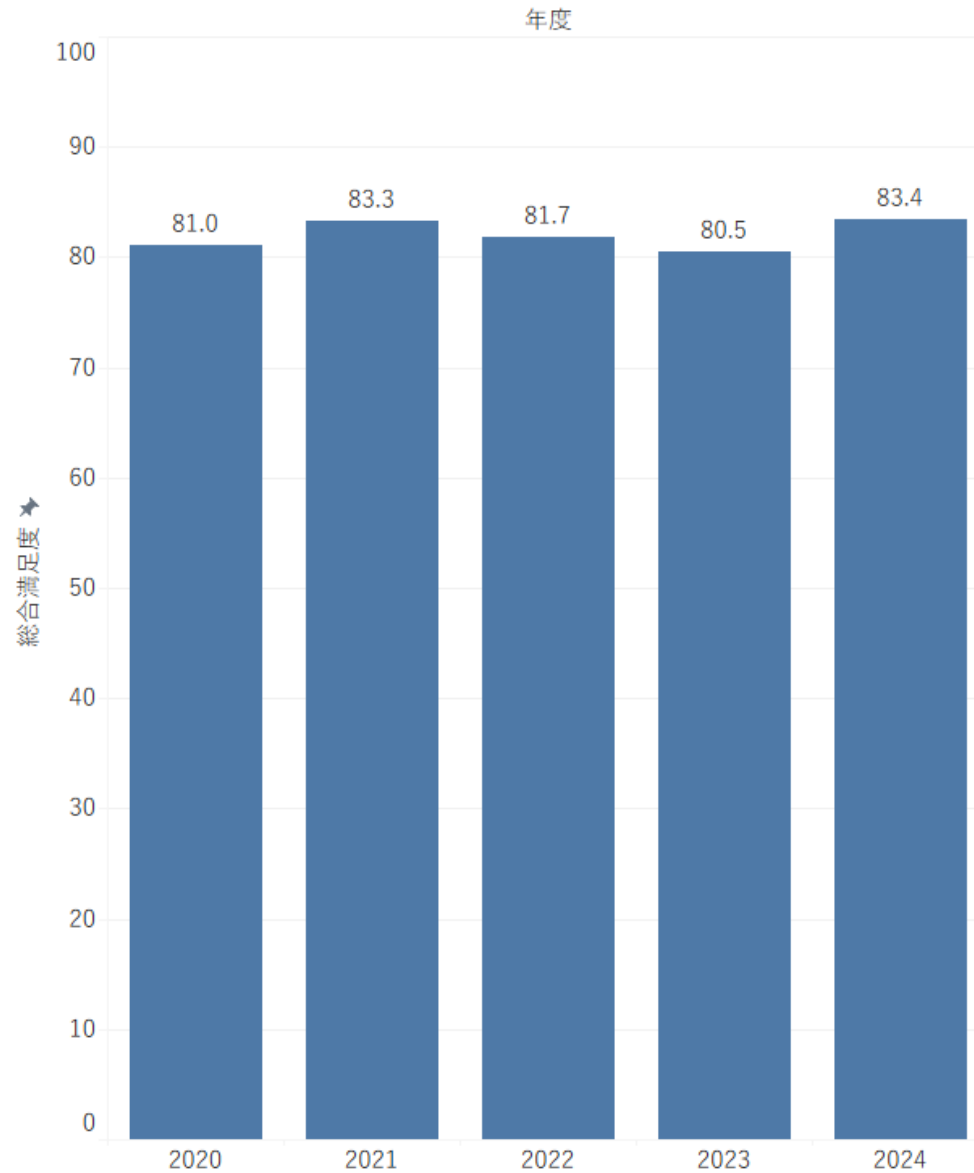
- とても満足: +2
- ある程度満足: +1
- どちらともいえない: 0
- あまり満足していない: -1
- まったく満足していない: -2

卒業時の評価：総合満足度(ビン)

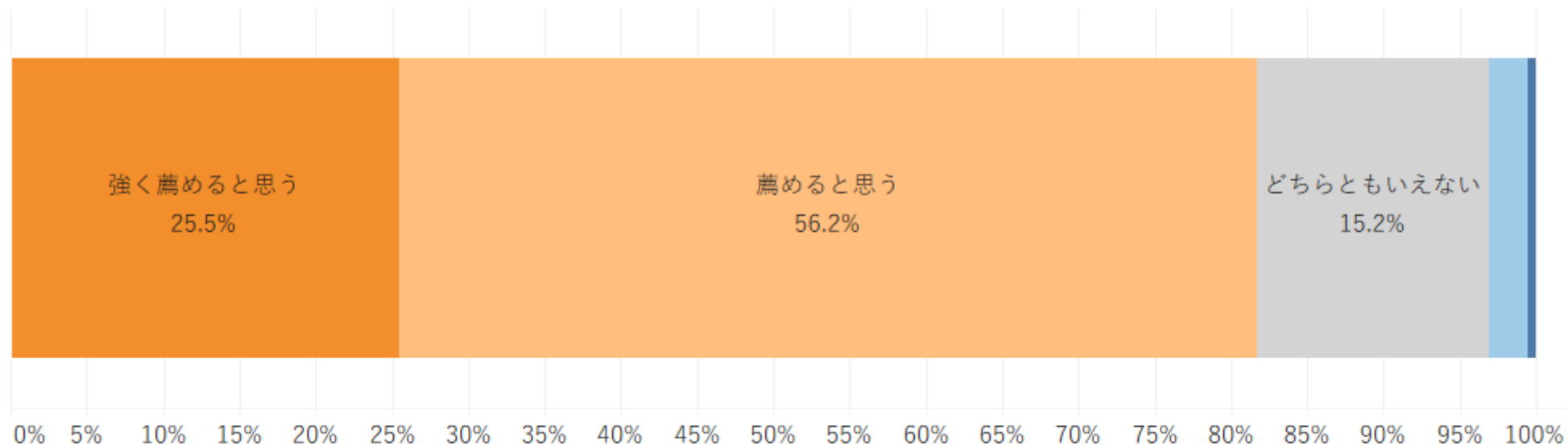


回答者の総平均
83.4%

卒業時の評価：総合満足度(平均値の経年比較)



卒業時の評価：後輩への推奨度

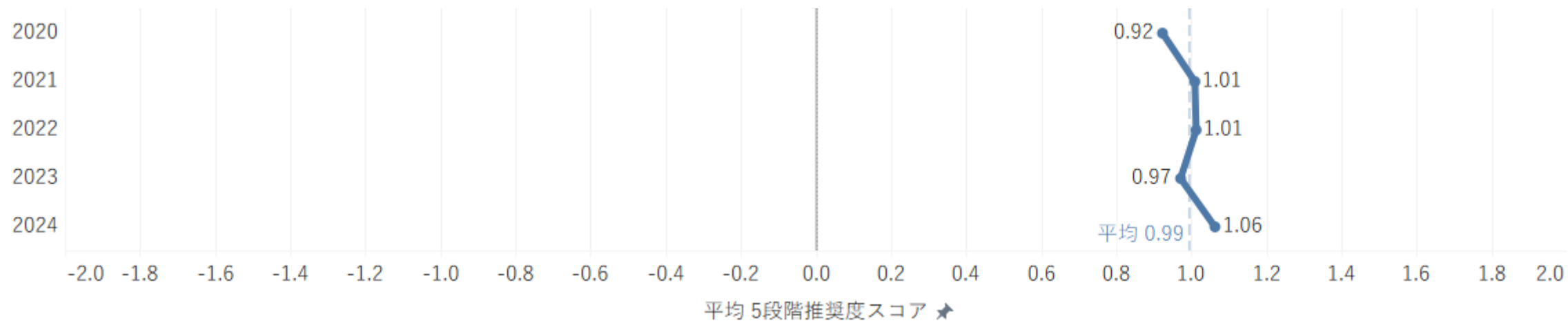


回答率 ★

回答

- 薦めない
- あまり薦めないと思う
- どちらともいえない
- 薦めると思う
- 強く薦めると思う

卒業時の評価：後輩への推奨度をスコア化した際の経年比較



※ 各選択肢を下記の通り仮想的に定量化して算出した

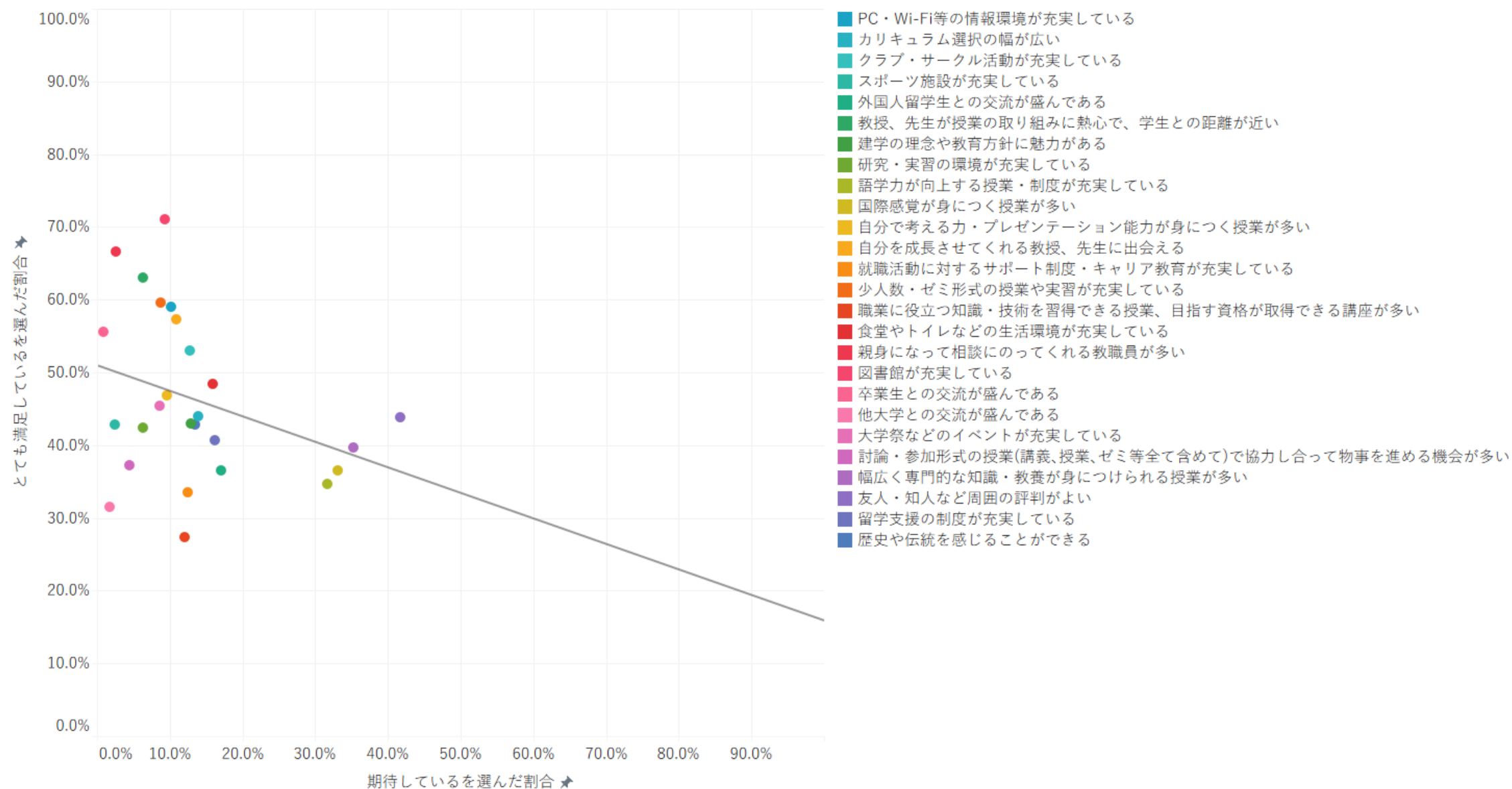
- 強く薦めると思う: +2
- 薦めると思う: +1
- どちらともいえない: 0
- あまり薦めないと思う: -1
- 薦めない: -2

4. 入学前の期待 × 卒業時の評価

「あなたは本学にどのようなことを期待していましたか」

「本学での学生生活を振り返って、以下の点においてどの程度満足していますか」

入学前の期待 × 卒業時の評価：26項目の相関関係(参考)



入学前の期待 × 卒業時の評価：26項目の相関関係

- 分析単位を26項目に固定し、期待率＝Q5の期待者/全体、満足率＝Q6の「とても満足」/当該項目回答者と定義。
- 相関係数： $r = -0.331$ （26点間のピアソン相関）。
- 期待されるほど「とても満足」比率は下がりがちという傾向。

入学前の期待 × 卒業時の評価：未充足率を元にした改善検討の優先テーマ(1/3)

項目名

友人・知人など周囲の評判がよい

0.2343

幅広く専門的な知識・
教養が身につけられる授業が多い

0.2121

国際感覚が身につく授業が多い

0.2096

語学力が向上する授業・制度が充実している

0.2067

外国人留学生との交流が盛んである

0.1084

留学支援の制度が充実している

0.0963

職業に役立つ知識・技術を習得できる授業、
目指す資格が取得できる講座が多い

0.0876

就職活動に対するサポート制度・
キャリア教育が充実している

0.0824

食堂やトイレなどの生活環境が充実している

0.0824

・ 未充足率 = $1 - \text{「とても満足している」を選んだ学生の割合}$

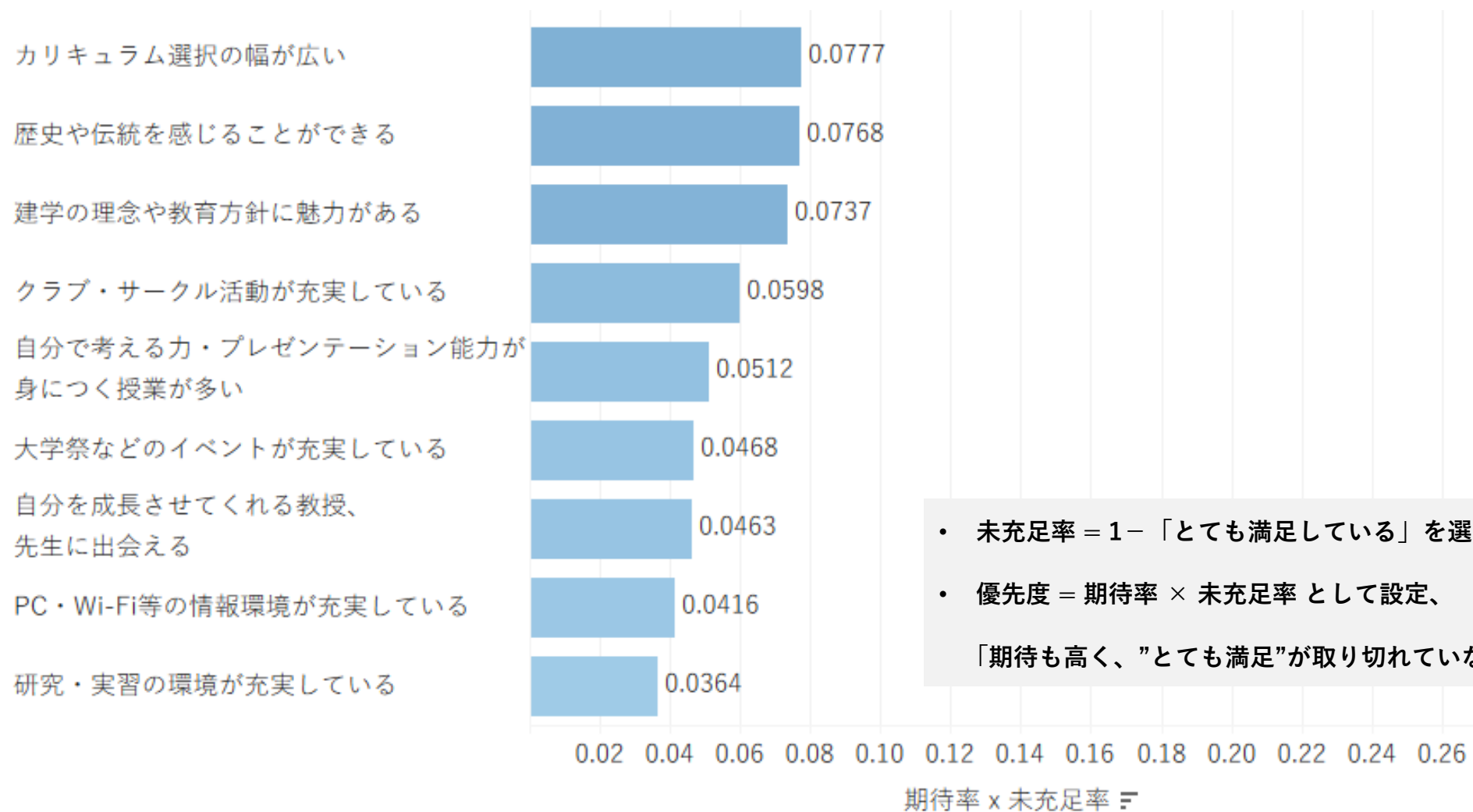
・ 優先度 = 期待率 × 未充足率 として設定、

「期待も高く、“とても満足”が取り切れていない割合」を数値化した指標となる

0.02 0.04 0.06 0.08 0.10 0.12 0.14 0.16 0.18 0.20 0.22 0.24 0.26

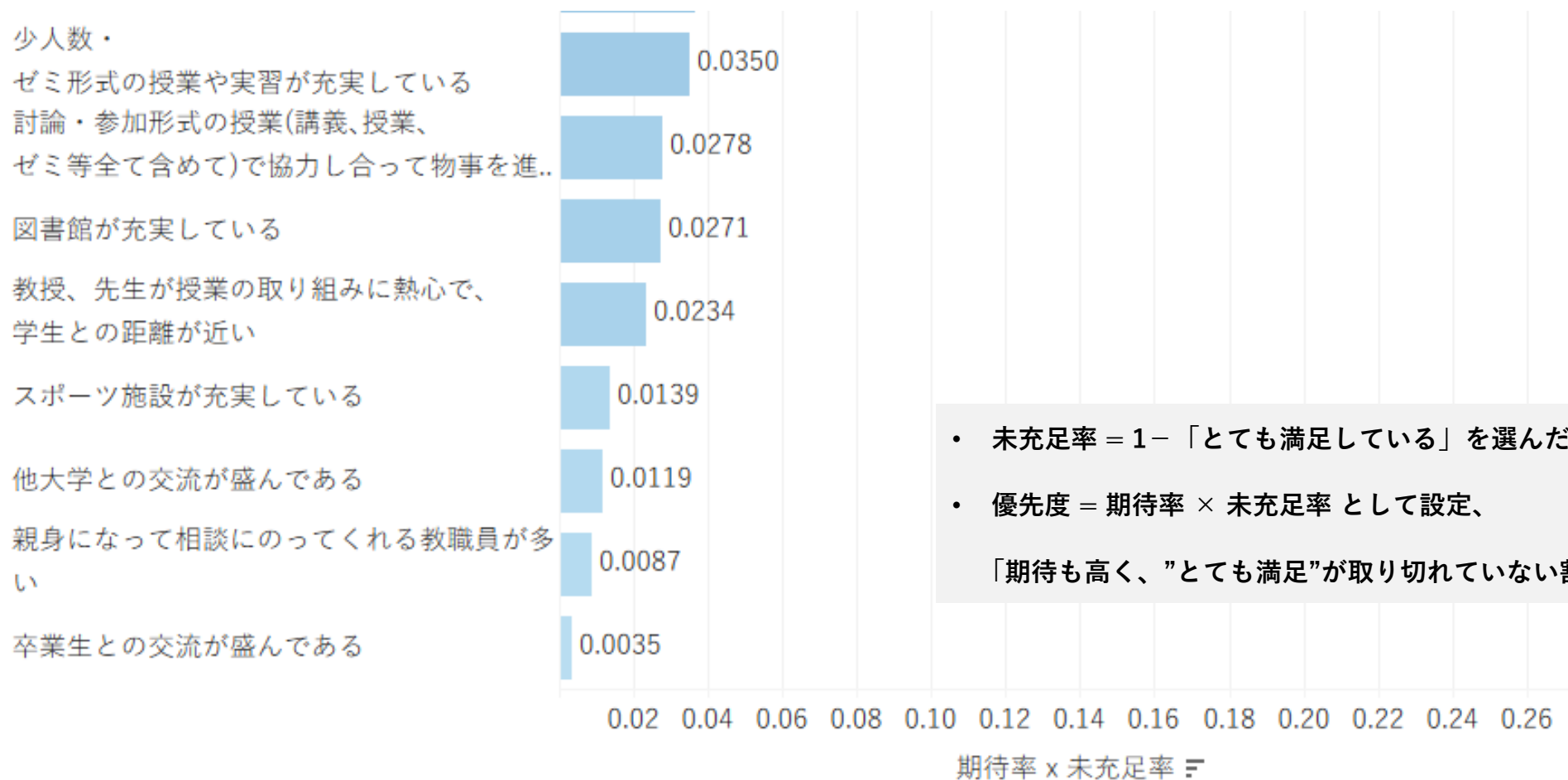
期待率 × 未充足率

入学前の期待 × 卒業時の評価：未充足率を元にした改善検討の優先テーマ(2/3)



- 未充足率 = $1 - \text{「とても満足している」を選んだ学生の割合}$
- 優先度 = 期待率 × 未充足率 として設定、
「期待も高く、“とても満足”が取り切れていない割合」を数値化した指標となる

入学前の期待 × 卒業時の評価：未充足率を元にした改善検討の優先テーマ(1/3)



- 未充足率 = $1 - \text{「とても満足している」を選んだ学生の割合}$
- 優先度 = 期待率 × 未充足率 として設定、
「期待も高く、“とても満足”が取り切れていない割合」を数値化した指標となる

入学前の期待 × 卒業時の評価：重点改善テーマ(優先度が高い領域)

- 国際・語学領域

- No.5 国際感覚, No.6 語学力, No.7 留学支援, No.25 外国人留学生との交流
- 例) No.5：期待率0.330 × 未充足率0.634 → 優先度0.210（推定約242人）

- 大学の核・学習の質

- No.3 周囲の評判, No.4 幅広い専門的知識・教養
- 例) No.4：0.352 × 0.602 → 0.212（約245人）、No.3：0.417 × 0.562 → 0.234（約270人）

- キャリア・資格直結

- No.9 職業/資格, No.21 就職支援
- 例) No.9：0.121 × 0.727 → 0.088（約101人）

5. まとめ

全体的な分析結果の俯瞰

- 総合満足度

- 今年度の総合満足度の平均は 83.4%。近年の推移は概ね横ばい～わずかな改善で安定している。

- 在学中の成長実感

- 「とても成長した」「ある程度成長した」の合計が9割超で、高い成長実感が確認できる。伸びた力は多角的・論理的思考、表現・プレゼン、協働などが上位。

- 入学前の期待（項目分布）

- 国際・語学系、幅広い専門的知識・教養、周囲の評判、生活環境などが相対的に高い期待として現れている。

- 期待 × 満足（「とても満足」基準）の関係

- 期待が高いテーマほど“とても満足”比率は相対的に伸びにくい傾向。

全体的な分析結果の俯瞰

- 今年度の特徴的な優先テーマ

- 国際・語学領域

- No.5 国際感覚, No.6 語学力, No.7 留学支援, No.25 外国人留学生との交流

- 例) No.5 : 期待率0.330 × 未充足率0.634 → 優先度0.210 (推定約242人)

- 大学の核・学習の質

- No.3 周囲の評判, No.4 幅広い専門的知識・教養

- 例) No.4 : 0.352 × 0.602 → 0.212 (約245人)、No.3 : 0.417 × 0.562 → 0.234 (約270人)

- キャリア・資格直結

- No.9 職業/資格, No.21 就職支援

- 例) No.9 : 0.121 × 0.727 → 0.088 (約101人)

- 経年の位置づけ

- 総合満足度は安定、一方で“とても満足”基準でみると、人気領域ほど“質の伸びしろ”が残る構図が今年度も確認できる。

- 読み取り上の留意点

- 本章は期待は二値（有/無）、満足は5段階の設計に基づく。満足率は当該項目の回答者ベースで算定。対象者が少ない項目は解釈に幅がある。